



ニュースの連絡と購読のご用命は

みなべ支局
〒645-0005
みなべ町南道39
TEL.0739(72)1717
FAX.0739(72)1718

購読のご用命は
花光 0739(72)2517
山本 0739(72)5775
佐藤 0739(72)2217
湯川 0738(43)0944
中田 0739(72)5278
山川 0739(72)3680
福本 0739(72)4887
浜口 090-7494-8084

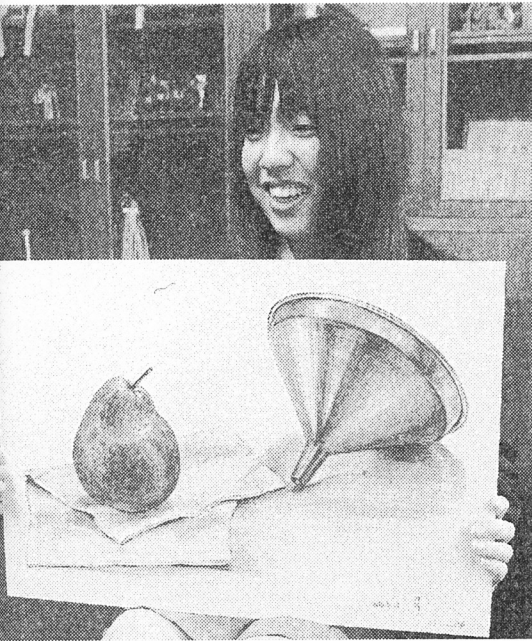
首長日程

3日
町議会
▽みなべ町長
開会
▽印南町長 午前出張
(御坊市)

小川さん4年制美大へ

龍神分校 創立以来初めて

田辺市龍神村安井の南部高校龍神分校を2日に卒業した小川みなみさん(18)は龍神村宮代Ⅱが、4月から相模原市の女子美術大学デザイン・工芸学科に進学する。同分校が創立された1948年以来、4年制の美術大学への進学は初めて。小川さんは「みんな応援してくれていたのが受かってほっとした。大学では、いろいろな分野の美術を学びたい」と意欲を見せている。



小川さんは分校のアートクラブで技術を磨いた。中学時代も美術部だったが、油彩画やアクリル画などさまざまな技法を専門的に学び始めたのは、高校に入ってから。高校2年生の夏に全国大会に出品。3年生の夏には県総合文化祭のポスターとして作品が採用されるなど、作品は高く評価されてきた。

龍神分校は授業やクラブ活
デッサンを手にする小川みなみさん(田辺市龍神村安井)

動で美術に力を入れており、小川さんは「描きたいという意志さえあれば、いくらでも描ける環境」と語る。アートクラブの顧問、長田恵教諭

試験は面接と指定された静物を鉛筆で描くデッサンだった。小川さんは1年生の秋から、受験のためのデッサンの練習を始めた。通常のクラブ活動の時間は午後5時までだが、その後の2時間は1人で残って励んだ。

練習は文化祭の日もマラソン大会の日も休まなかった。最初のころは、単純な立方体を描くだけで6時間以上かかっていた。受験前には、試験時間と同じ2時間半で1枚仕上げの訓練をした。その数は約300枚に及んだ。「デッサンは絵を描くための基礎。自分との戦いだ」と話す。

長田教諭は「小川さんは真面目で、目標をしっかりと持っている。彼女にとってはこれだから正念場。視野を広く持ち、頑張ってほしい」とエールを送る。

小川さんは本の挿絵などを描くイラストレーターになりたいという。「伝えたいという気持ちを大切に、テーマのある絵を描いていきたい。大学では公募展などに積極的に出品したい」と話している。

(53)との出会いも進路に大きな影響を与えた。「熱心な指導で、生徒の個性を生かしてくれる」と信頼を寄せる。美術大学への進学は小学校に入学する前からの夢だったという。女子美術大学に志望を絞ったのは、高校1年生の冬。その後、大学を見学し、学内に飾られていた学生の作品を見て、授業が楽しそうだと感じ、「ここで学びたい」とはっきり思ったという。昨年11月の公募推薦で合格を決めた。